

第2回 TECH BEAT Shizuoka for Agri 参加スタートアップ企業一覧(五十音順)



No	スタートアップ企業 ライティング	企業名	カテゴリー	事業内容	ウェブサイト	本社所在地
1	○	FPV Robotics 株式会社	ロボティクス	「ドローンテクノロジーで社会創造に貢献する」 ドローンで省人化、自動化等の課題解決いたします！ 想定分野:物流、インフラ、農業 取引実績:JR東日本、沖電気工業、自治体等	https://fpvrobotics.com/	東京都
2	-	株式会社Happy Quality	管理システム	マーケティングメータドリブにより、生産および流通に変革をもたらす。作る、作り方、売り切る。を一気通貫するサービスとして提供する。	https://happy-quality.jp/	静岡県
3	○	株式会社IT工房Z	管理システム	Coming soon	https://itkobo-z.jp/	愛知県
4	○	株式会社KOMPEITO	販売支援	「食を中心とした新たなサービスを生み出し、つくり手とつかい手を豊かにする」をミッションに、2012年9月に設立したベンチャー企業です。 消費者と生産者を繋ぐ新たなチャネルを通じ、農産物の流通改革にチャレンジしています。 2014年より、働く人と企業の健康を促すオフィス向け置き野菜サービス「OFFICE DE YASAI(オフィスで野菜)」をスタート。「OFFICE DE YASAI」はオフィスに冷蔵庫を設置し、新鮮なサラダや手作り惣菜など、健康的な食事をお届けします。設置企業の従業員様は、1つ100円～購入することができます。 現在では、ベンチャーから大手企業、医療機関等2,000拠点以上に導入いただいています。	https://www.officedeyasai.jp/company/	東京都
5	-	米国法人LOAD&ROAD,LLC.	販売支援	Coming soon	https://teplatea.com/	東京都
6	○	株式会社MARS Company	その他	主として①非熱電場エネルギーによりマイナス温度でも凍らせず、長期鮮度保持、熟成、高品質解凍が可能な「KuraBan」冷蔵庫の製造販売、②1%の塩分濃度、-1℃の温度帯を長時間安定して維持できる雪状の水を製造する製氷機「sea snow」の製造販売を行っています。 ○「KuraBan」とは、生鮮食品の長期鮮度維持(通常の冷蔵庫の3~10倍保存期間が伸びます)、ウェットエイジングによる衛生的な熟成肉への加工、ドリップが流れず高品質な解凍を実現できる冷蔵機器、技術です。事例としては、いちごを「KuraBan」で冷蔵保存した場合、24日後でも外見、食味に変化なく、高鮮度で保存できました。 ○「sea snow」は魚体を傷つけず、冷凍させず、鮮度を劣化させない温度帯を長時間維持できる雪状の水を造る製氷機です。事例としては北海道で獲れた生エビンを東京都内のスーパーマーケットまで輸送し、刺身用として販売しました。通常の氷を使った輸送では刺身用としての提供は不可能でしたが、当社の「sea snow」が鮮度という課題を解決しました。また、水分を含まず、軽いため、輸送コスト面でもメリットが大きいとされています。	https://www.mars-company.jp/	群馬県
7	○	株式会社Momo	管理システム	Coming soon	https://momo-ltd.com/	兵庫県
8	○	株式会社SECAI MARCHE	販売支援	生産者と消費者をダイレクトにつなぐ東南アジアNo.1 産直ECプラットフォーム。 日本をはじめとする生産者と東南アジアの消費者をつなぐ新しいダイレクトインフラを構築している。 日本の生産者が国内取引と同じ方法で海外販路を広げることのできるCommerceで、現在アジアの生産者の2,500以上の商品掲載、1,000を超えるB2B、B2Cユーザーを持ち事業展開している。 「創る人と使う人がダイレクトに繋がることで、情報・モノが平等に流通し、全ての人が主役になれる世界を創造する」をミッションに東南アジアの新しいダイレクトインフラを創造。	https://secai-marche.com/jp	東京都
9	○	株式会社SenSprout	管理システム	株式会社SenSproutは農業用の土壌水分センサー、灌水制御装置、ビニールハウスソリューションの開発・販売を行う東京大学発のスタートアップです。スマート農業機器やソリューションの提供を通して、日本の農業を儲かる事業にすることを目指します。 ◎参考記事(弊社代表三根のインタビュー) ・東工科大学 研究室 からスタートしたプロジェクト 土壌水分センサーで農家人口の減少に立ち向かう https://synapse-magazine.jp/new-business/181029mine/ ・ビジネスモデルと起業の経緯、今後の展望 https://youtu.be/8yZv-fXlgnk	https://sensprout.com/	東京都
10	○	VUILD株式会社	林業	VUILDは、デジタルテクノロジーによって建築産業の変革を目指す建築テック系スタートアップです。『生きる』と『つくる』がつながる社会へをビジョンに掲げ、高度に専門分化している建築産業を、デジタルテクノロジーを活用することで民主化し、生活に必要な家具や建築物などを誰もが自分の力で作ることが出来る世界の実現を目指しています。 事業内容:建築設計、木製品開発及び製造、CNCルーターの販売、デジタル人材育成、事業開発支援、ITサービス開発	https://vuild.co.jp/	神奈川県
11	○	グランドグリーン株式会社	その他	◆スローガン Envision Future Plants ~植物から、無限大の可能性を~ ◆ミッション 先端のテクノロジーで植物のポテンシャルを最大限引き出し世界を幸せにします。 ◆事業概要 ①新品種創出事業 新たな作物品種や接木苗の開発および販売を行います。他者との共同開発や、共同事業を 見据えた連携を開発段階から進めることでオープンかつバリューチェーン全体に波及効果のある種苗開発を目指します。 ②接木システム販売事業 誰でも簡単・高効率に接木ができる接木カセットの開発・販売を行います。 また、接木カセットを用いて自動で接木を行う接木装置の開発・販売も行います。	https://www.gragreen.com/	愛知県
12	○	サグリ株式会社	その他	サグリ株式会社社名の由来は、SATELLITE x AI x GRIDです。 宇宙から見たグリッド状の地表データを活用し、将来人類が直面する食糧問題や環境問題の解決に取り組む企業です。 衛星リモートセンシング、土壌分析、機械学習をはじめとした技術を融合させ地球の今と未来を創造します。	https://sagri.tokyo/	東京都
13	○	スキャン・エックス株式会社	その他	スキャン・エックス(株)は、イスラエルのスタートアップで働いていた日本人とオーストラリア人が偶然出会い、2019年に設立したスタートアップです。世界中の森林や建設現場を3Dデータ化してきた私たちは、各種機器で取得した3D点群データをオンラインで高精度なクラス分類・解析が出来るソフト「スキャン・エックスクラウド」を提供しています。 最先端のAI技術と3D点群を使って、点群データから自動で樹木の木数、胸高直径、樹高を算出するScanX Canopyを提供しており、既に様々な自治体で実績を残しています。	https://scanx.com/	東京都
14	○	テラスマイル株式会社	管理システム	テラスマイル株式会社(本社、宮崎県児湯郡新富町、研究開発拠点:静岡県浜松市)では、創業から7年間、農業分野にデータを活用するという活動を行っている会社です。創業者がシステムインテグレータの新規事業を担当していた折、農業法人の立上げと黒字化に向け、経営管理と原因分析ITとビジネスフレームワークを活用し、収支改善を進めていた経験がきっかけとなり創業されました。 地域と農業という壁の高い業界にチャレンジし、大手ベンダ時代では経験できない様々な現場での経験を経て、4年後の2018年に農業経営における収支向上(企業の持続的成長・目標所得の獲得=稼く農業)を目的としたクラウドサービス「RightARM」をリリースし、現在は主に国の政策であるSociety5.0、中でも農業のデジタル化を目指す農業産地・法人を中心に、活用されています。	https://www.terasuma.jp/	宮崎県
15	○	株式会社デルフィージャン	その他	デルフィージャンは、農業および園芸のより高い知識サービスにより皆様のパートナーとなることを目指しています。農作物の栽培に関する最先端で実践的な専門知識を生産者や企業の方にサービスの形で提供します。私たちはお客様の収量および品質向上と経費削減を支援することで、ビジネスにおける知識と収益向上に貢献してまいります。	https://delphyj.co.jp/	栃木県

第2回 TECH BEAT Shizuoka for Agri 参加スタートアップ企業一覧(五十音順)



No	スタートアップ企業 ライトニングアイコン	企業名	カテゴリー	事業内容	ウェブサイト	本社所在地
16	○	株式会社フォレストシー	林業	「日本の隅々まで、IoT通信圏外をゼロへ！」 森林が7割を占める豊かな自然を有する日本の地方創生・自然再生には、その地域を少しでも安全・安心・便利にする必要があります。 ところが特に奥山・中山間地域に於ける携帯圏外エリアは広大であり、更に4G回線の普及と共に山間部で繋がり易い8G回線が順次廃止され、今後携帯圏外は増える可能性が高く、そのような地域では通信手段がないためにIoTを用いる事が困難な様々な課題、問題が多くあります。 林業従事者のSOS手段とコミュニケーション方法が事実上無く、通信手段がなければ林業の生産性を上げることができません。 イノシシの農業被害だけでなく、増え続けるシカによる林業の食害は深刻さを増すばかりです。 フォレストシーの通信ブランド「里山通信」の第一号製品「捕獲通知：オリワナシステム」は既に全国75地域以上での採用実績がありますが、 今後は ●林業従事者や登山者、限界集落の高齢者など、人の見守り ●携帯圏外の河川上流・源流の気象状況や水位の監視、低解像度写真による画像監視 ●農業用・防災用ため池の遠隔監視・制御 等、主に「防災用」のIoT通信インフラを全国の自治体に展開し、「日本の地方創生と自然再生」に貢献して参ります。	https://satoyama-connect.jp/	東京都
17	○	株式会社ベルデザイン	その他	電源をリ・デザインし、事業活動を通して、不確実性の時代における社会課題を解決する。 これが、持続可能な社会に向けたわたしたちのビジョンです。 重層化した社会課題をはらんだ現代社会、今はVUCAの時代と称されます。世界情勢や地球環境はこれまでになく不安定(Volatility)、不確実性(Uncertainty)、複雑性(Complexity)、不透明性(Ambiguity)をはらんでおり、人々の暮らしは激動の中で翻弄されています。 安心、安全な暮らしを継続することが簡単ではなくなりつつある昨今、普段は当たり前だと思っている社会インフラの姿も見直す時期にきているのではないのでしょうか。 私たちは、これまで培った電源の技術力を強みに、新たな顧客価値を提供するために生まれた企業です。 電源のあり方をリ・デザインし、人々の目指すべき未来像に向けて、よりよい社会を実現します。	https://www.bell-design.co.jp/	埼玉県
18	○	株式会社ポケットマルシェ	販売支援	ポケットマルシェ(https://poke-m.com/)は、全国の農家・漁師から、直接やりとりをしながら旬の食べ物を買うことができるプラットフォームです。提供は2016年9月~。 現在、約3,900名(2021年1月時点)の農家・漁師が登録し、約9,000品の食べ物の出品と、その裏側にあるストーリーが提供されています。新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに消費者の食への関心が高まり、ユーザー数が約倍、注文数はピーク時に約20倍となり、現在約260,000名の消費者が登録頂いており、「生産者さんと繋がる食」を楽しむ産直ECです。 なお、本社は岩手県花巻市。 事業内容: ・生産者と消費者を直接繋ぐCtoCプラットフォーム「ポケットマルシェ」の企画・開発・運営 ・リアルマルシェの企画・運営 ・飲食店、小売店への食材卸およびフェアイベントの企画・運営 ・食べもの付き情報誌「食べる通信R」の普及・多地域展開の促進、「東北食べる通信」の企画・運営 URL: https://www.pocket-marche.com/	https://www.pocket-marche.com/	東京都
19	○	ライブリッツ株式会社	管理システム	Coming soon	https://www.laiblitzz.co.jp/	東京都
20	○	株式会社ルートレック・ネットワークス	ロボティクス	(1) AI灌水施肥ロボット「ゼロアグリ」および関連サービスに係る事業 (2) ネットワーク制御機器「ルートマジック」に係る事業	https://www.routrek.co.jp/	神奈川県
21	○	株式会社笑農和	管理システム	弊社は「IT農業を通じて笑顔の人の和を創り社会に貢献するを企業理念に、稲作の工程の中で一番時間と労力を使う「水管理」の工程に着目し、「スマホで簡単に水管理」が出来るpaditch(パディッチ)シリーズを販売しております。現在は自動水門 paditch gate02+、自動給水弁 paditch valve01、そして2021年4月に、排水制御対応 paditch drain01 を発売予定です。 事務所やご自宅にいながら田んぼの状況確認や水位調整が可能になることにより「他の作業工程に時間が使えるようになる」豪雨時や高温時にリスクを冒して田圃をする必要がなくなり事故防止にもつながる」などの効果が得られます。	https://enowa.jp/	富山県
22	○	株式会社農業情報設計社	ロボティクス	2014年4月、代表である濱田安之により、十勝平野の広がる北海道帯広市に設立。農業者の熟練度によらず、トラクターが「まっすぐ等間隔に走る」ための農業機械用ガイドナビアブリ「AgriBus-NAVI」を2015年2月にリリース。作業の効率化や資材コストの低減につながることから、世界中の農業者様に支持され、同等アプリ内ダウンロード数は100万件を超えて世界一。 2019年12月には高精度な位置情報を可能にする「AgriBus-GMiniR」や自動操舵を実現する「AgriBus-AutoSteer」の国内販売を開始し、農家のアグリテック化に貢献しています。	https://agri-info-design.com/	北海道
23	○	株式会社ビビッドガーデン	販売支援	Coming soon	https://vivid-garden.co.jp/	東京都